

第3期小山市商業・観光振興計画（素案）に対する
パブリックコメントの結果について

第3期小山市商業・観光振興計画（素案）に対するパブリックコメントを実施したところ、貴重なご意見をいただきました。

お寄せいただいたご意見の概要と、それに対する市の考え方を、下記のとおりまとめましたので公表いたします。

1. 意見募集の概要

(1) 募集期間

令和3年3月2日（火）～3月15日（月） 14日間

(2) 閲覧場所

- ・小山市ホームページ
- ・商業観光課
- ・市各出張所

(3) 提出方法

住所、氏名、電話番号を記入し、次のいずれかの方法による

- ・郵送
- ・ファックス
- ・電子メール
- ・商業観光課へ直接提出

2. 意見募集の結果

意見提出人数 1名 11件

3. 意見の概要と市の考え方

提出された意見の概要については、個人又は団体等が特定できる情報を編集した上で、公表しております。

番号	頁	意見の概要	市の考え方
1	21 頁 ① 大規模店舗の立地状況	表・グラフ「市内大型店舗面積等」直近のデータが2014年（平成26年）と7年前のものであるため、現状把握のためにも最新のものの使用に努めてください。 表「業態別店舗数および市内立地大型店舗一覧」 市内大型店舗面積等の表と関連付けて参照できるよう、表にデータの作成年を明記してください。	より効果的な分析・現状把握が行えるよう、直近データをもとに追加修正します。表の作成年についても追記します。
2	26 頁 (3) 観光客入込数、宿泊数の推移	宿泊施設（床面積、ベッド数、形態）に関する情報をつけた方がよいと思う。また、令和2年度のデータはそろっていないと思うが、コロナの影響を検討するため、2019年4月以降、データ利用が可能な時期までの観光客数、宿泊数の月毎のデータを示すことはできないか。	観光客入込数には、宿泊施設の床面積、ベッド数、形態等の情報は入っておりません。また、コロナの影響を考慮することは重要でありますので、今後、最新の集計結果をもとに、事業の取り組みに活用してまいります。

3	38 頁 図 小山 駅 周辺 にお ける 開 発 動 向	図に、閉鎖された事業所等の名称が記載されています。町名のみを示した白地図の方が適当と考える。	一部の事業所の記載は適切でないことから削除いたします。
4	39 頁 3-1 アン ケート 調 査 から みる 市 民 及 び 商 業 観 光 関 連 事 業 者 の 意 向 につ いて	<p>グラフの中のコメントは、作成者の意図が分かりやすい一方、データの見方を誘導されているように思える。章の最後に、「アンケートから見える意向」として、表記した方がよいと思われる。</p> <p>「市民及び商業観光関連事業者の意向」とあるが、調査結果に示されている事業者は、2016 年に実施した旅行事業者海外支店のものと思われる。小山市内の商業観光関連事業者のアンケート調査では無いのか。無い場合は、アンケート調査をした方がよいと考える。</p> <p>P42(3)小山市インバウンド 3 カ年計画からのデータを使用されており、データが2016 年のものであること、アンケートの手法が、2021 年からの 5 年間の計画を立てるものとして利用することに疑問(当時の情報誌に掲載されていた観光スポットとイベントから、人気が出そうなものを選ばせる)に思われる。また、田んぼアートについてコメントが記載されているが、2021 年度から事業は廃止になるのではないかと。同様に ALT の調査結果(小山市インバウンド 3 カ年計画)も、データ数 23 (男性 17 人、女性 6 人)と母数が少ないと思われる。市内の在住外国人 7,000 人や、県外から小山市に移り住んだ白鷗大学生などを対象にアンケート調査をした方が小山市の魅力が客観的に分かると思われる。</p> <p>P44(4)で使用されているデータも 2015 年調査であり、現状を反映しているとはいいがたいように思われる。使用するデータの再考をご検討ください。</p>	<p>コメントは、各々のグラフの特徴的なものや特筆すべきものを示したものであり、一方的な意志を持って掲載しているものではありません。</p> <p>また、これらの結果に関しては、第 4 章 計画課題の整理において商業・観光それぞれの観点から総合的にまとめています。</p> <p>各種データに関しては、既存の計画や資料より参考となるものを使用したものです。事業を進める上では、適宜必要に応じ調査等を実施し、現状把握に努めるなど、市民等の意向に沿った事業が展開できるよう実施してまいります。</p> <p>また、田んぼアートについてはご指摘の通りですが、本市の事業として人気を得ている事例であることから、今後のイベント検討における参考としての活用を想定し掲載しています。</p>

5	47 頁 観光・イベント事業に関する現状からの課題	外国人観光客等の受入環境の充実を図るため、観光関連施設における外国語表記等の整備や Wi-Fi 環境に取り組んでいる自治体が多くある。具体的には、(1) 外国語表記の整備、(2) Wi-Fi 環境の整備、(3) 消費税免税店開設準備及び電子決済端末導入整備についての補助事業です。課題にこれらの視点が入っていないように思われる。また、繰り返し浸水害を受けた小山市として、災害発生時の観光客や通勤・通学で小山市を訪問している人々への対応も課題として加えることもご検討ください。	小山市観光協会では、日本政府観光局で実施している「JNTO 認定外国人観光案内所」の認定を受けており、これまで対応可能な取組みを進めております。本計画策定においては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、観光業に対する影響が大きいこと、また今後を見据えた場合、この影響は長引く懸念があることから、外国人の受入体制整備により、インバウンド頼りとならない対応策を課題としました。
6	48 頁 商業・観光振興の基本方針	「賑わい・魅力ある商業・観光振興で人々に選ばれ、楽しみ喜ばれる、おやまの創造」について、“選ばれ”、“喜ばれる”は、結果としてそのようになることであり、基本方針の言葉として入れることに違和感がある。また、方針そのものが長く焦点がつかみにくい印象を受けた。加えて、小山市の新しいキャッチコピーとロゴマークが決まったので、それと関連付けた基本方針とした方が良いように思われます。	基本方針は、小山市へ来訪した方々が、結果として楽しんでいただき、喜んでいただけるような魅力ある商業と観光を推進していくことを目指すべき目標として定めたものであります。また、市のキャッチコピーやロゴマークについては、市のシティプロモーション「魅力発信」の中で取り組んでおり、本計画の中での位置づけはしませんが、小山市や観光協会において積極的な使用 (PR) に努めてまいります。
7	51 頁 主体凡例	官 小山市、事 事業者、民 市民 好みの問題ですが、余白が十分ある中で、略することの意味があまりないように思われる。小山市、事業者、市民とそれぞれ記載した方が、印象が良い。	取組み主体が一目でわかるよう略さずに記載いたします。
8	57 頁 2-3 本場結城紬による観光まちづくりの推進	本場結城紬の活用として、小山市単独よりも結城市との連携も視野に入れていった取組みをする方が、活用の広がりがあると考えます。	本場結城紬プロモーション事業として、イベント開催による結城市・小山市（きもの day 結城、小山きもの日）連携事業について追記いたします。

9	58 頁 ① 自転車ネットワークによる回遊性の確保	自転車道路の活用とともに、自転車が安全に走れる道路の整備も並行して取り組んでいただきたくお願いします。また、レンタサイクルシステム等の充実とありますが、小山市シェアサイクル「らくーる」は2021年3月末で廃止です。公設・民設のレンタサイクル事業が、今後、新設されることを期待します。	県の計画である自転車道の整備はR2年度で完了し、シェアサイクル「らくーる」についてもR2年度で終了いたしますが、継続するまちの駅のレンタサイクル等を活用できるよう、関係各課と連携して、自転車が安全に走行できるよう取り組んでまいります。
10	58 頁 ② コミュニティバス等公共交通の充実	MaaS 事業の取り組みや、路線や時間帯を制限してバスへ自転車の持ち込み、もしくはバイクラックを利用した積み込みを可能にすること(北米や欧州などでの利用あり) など、バス+αの取り組みの充実をご検討ください。	ご指摘の内容である、MaaS 事業の取り組みやバスと自転車の連携について検討してまいります。
11	64 頁 4-2 広域連携の促進	小山市の交通の要衝であるという恵まれた立地条件と比べて、小さな自慢は山ほどあるが、残念ながら、市内には目玉となる全国的に有名な観光資源がないと思う。基本目標 1.2.3 は、いずれも小山市内のみを訪問する人を対象にした事業の印象を受ける。実際の旅行者の行動パターンは、推測だが、現状小山市は通過点と思う。たとえば、砂漠の中のオアシスのように、物資を補給できる場所、つまり、短時間の休息、情報 (Wi-Fi 環境、近県の観光地の情報、スマホの充電)、衣料品 (長期旅行者は洗濯できる場所を探している)、食料品の購入 (観光地への移動時間確保のため食事を簡単に済ませることがある) を充実させる方が、観光資源を磨き上げることよりも、迅速に済ませることができるよう思われる。小山市を通過して次の場所へ行く人のためのインフラ整備に関する目標を基本目標 1.2.3 に加えてはいかがでしょうか。広域連携の促進の意味がより深まると思います。	観光資源の発掘と磨き上げは、計画体系の基本目標とした 4 つの柱の一つであり、小山市の観光資源として、いかに豊かな自然や文化・歴史を活かしていくかを課題とするものです。一方で、広域観光の拠点としての市の役割は十分に認識する必要があるものと考えており、ご意見にありますインフラ整備については、基本施策 2-5 自然と歴史のネットワーク整備と合わせて検討してまいります。